

5 月度 木曜例会 Zoom

2022 年 5 月 12 日

Guest speaker ; Mr. Nam Quoc Nguyen (Denmark)

Title ; My life as a Refugee, Danish and Globetrotter

1971 年にベトナムの Phan Rang で生まれ、ベトナム戦争(1955-75)後の 1979 年にベトナムから避難して、タイの Songkhla に行き、その後、1979 年にデンマークに行き、Brejning という人口 3000 人位の町で 1997 年まで育つ。

陸軍でのキッチンの仕事をした後、調理学校で学び料理の道に進むことになった。デンマークで仕事に就いた後、世界各地のホテルで修業をした。

その後、2001 年にシンガポールでレストランの主任シェフ、2004 年バリのホテルで一緒に働いていた現在の奥様と出会われ 2005 年結婚、2012 年にシンガポールでレストランを開店、現在は日本在住という経歴をお持ちの Nam さんの目くるめくような半生の物語をお話いただきました。

24 名の会員の参加がありました。

現在の happy なご家族の写真



自己紹介



ベトナム

Reunification express の写真

Reunification express

(統一急行列車)

ハノイからホーチーミンまで
34 時間かけて 1,734km
を走っている。昔は、72 時
間かかった。

ベトナムの鉄道は、歴史的
にはフランス統治時代に
北ベトナムで開通した。

南ベトナムはアメリカ統治下に置かれた。



ベトナム戦争後、南北ベトナムが統一され、非常に大きな変化が起こりました。
北から南に向かうと、ベトナム全土を通過することになり、フランスの影響下にあった
北部地方からアメリカの影響下にあった南部地方を知ることができます。

私のふるさと

私が生まれた **Phan Rang** は昔のチャンパ王国の首都であった。

人口 20 万人。

第二次世界大戦の時、日本が航空基地
を作り、戦後はフランスも使用した後、
ベトナム戦争ではアメリカも使った要衝
の地である。

PHAN RANG-THÁP CHÂM

Phan Rang-Tháp Châm (commonly referred to as Phan Rang for short) is the capital city of Ninh Thuận province, Việt Nam. What is now Phan Rang was formerly known as Panduranga, the capital of the kingdom of Cham or Champa.
Population: just below 200,000



塩田風景

海と山と海岸線が美しく、hot & dry の
気候であり、果物、ワイン、食塩などを
産し、農業・畜産・漁業が盛んである。

日本でも、ベトナムのエビがたくさん食べら
れている。



ベトナム人はオーストロネシア諸族に属し、台湾や東南アジアから渡って来て、ミクロネシアなどの南太平洋地域に拡散した人たちの子孫と考えられている。

人びとは、古い伝統を守り、祝祭を大切に伝えている。

4月に行われる **Lunar New Year** は極めて宗教的な祝祭である。



Journey to Freedom

ボート・ピープルのことはご存じだと思います。

サイゴン陥落後、共産主義政権下で、将来に希望の持てない多くの南ベトナム側の住人がいた。



ベトナム戦争後、共産主義政権下の1978年、私が7歳の時ベトナムを離れた。タイランド湾をボートで渡りタイの Songkhla に逃れた。海賊による略奪やレイプが横行する可能性のある危険な旅であった。

Songkhla
難民キャンプの写真



タイの陸軍が管轄するキャンプで生活中には、U.S.へ向かう人が多く、順番待ちの状態であった。

1979年、ナムさんの父がデンマーク出身のジャーナリストと話をしたことがデンマークに行く契機となった。

父母にとっては苦しかったようであるが、結果的には良い選択であったと思う。



Brejning は人口 3000 人位の町で 1997 年まで育った。



Denmark

人口 580 万人、首都のコペンハーゲンに 80 万人が住む。

グリーンランドやフェロー諸島と共にデンマーク王国を形成している。

教育・医療・福祉のレベルが高く、LGBTも受け入れ、多様性の豊かな自由の国である。

スウェーデンやノルウェイと類似した文化を持ち、言語もお互いに理解できる。

NATO に属しており、西側諸国との連携を保持している

デンマーク名所

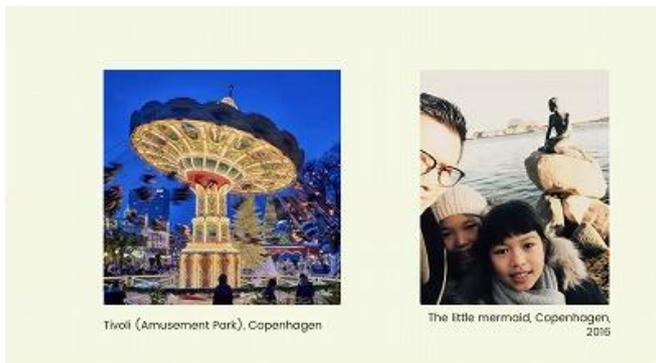
Amalienborg palace 女王の居城



Nyhavn 2016 Namさん夫妻



Tivoli The statue of The Little Mermaid

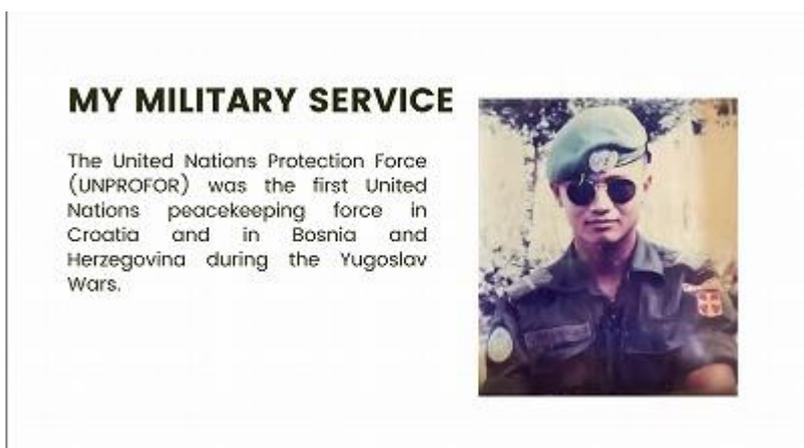


他にも、Jutland's West Coast, Skagen、Den Gamble By, Arhus や
アンデルセンの生まれたオーデンセなどがあります。

兵役とその後

デンマーク政府は、私にとつて多くのチャンスを与えてくれたので、非常に感謝しており、18歳になった時、デンマーク陸軍のコマンド・トレーニングに参加した。

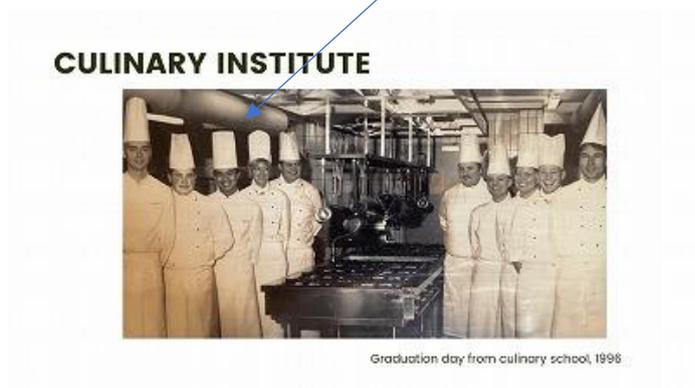
1990年、UNPROFOR(国連保護軍による平和維持活動)に参加した。



陸軍のキッチンでの仕事はその後の私のキャリアを方向づけた。

1992年陸軍の仕事を終えて、調理師学校で学んだ。 **唯一のアジア人 Nam さん**
1996年卒業して、その後のキャリアを決定づけた。

まず、デンマークで働き、次にノルウェーの首都オスロに行った。



1998 年のノーベル平和賞の式場であるグランド・ホテルでの**バンケットの料理人の一人**になった。

その後、ニューヨーク、シンガポール、ロンドン、バリ、タイを回り、シンガポールに戻り、



2001 年、料理長(レストランシェフ) 就任

2004 年バリのホテルのマネージャー兼シェフに就任。(～2006 年)
このホテルで働いていた日本人女性と出会い、2005 年に結婚した。

インドネシア

18000 にも及ぶ島からなり、活火山の多い国である。

オランダの統治下にあった。宗教はムスリムが多数派である。

バリの人口は 1.4 百万人で、ヒンドゥー教徒が多い。

お祭りの様子



奥様とのスナップなど



バリのアグン山は富士山のような形をした聖なる山として崇拝の対象である。

バリは静逸な島であり、宗教儀礼が今でも色濃く残り、新年の夜は光を消して家中で静かに過ごす。

植民地時代も、バリは孤立していたお陰で、ヒンドゥーの香りが残り、年間 600 万人の観光客が訪れる。

観光客の増加は環境汚染や水質汚染を引き起こして問題となつて汚染を引き起こして問題とな

アグン山



いる。

NAM さんオリジナルの料理



機会があれば食べたいですね。

NAMNAM;

2012年にシンガポールで開いたレストラン。自分の名前からの由来でもあり、デンマーク語で「美味しい」をナムナムということから名付けた。さらに、新たな NAMNAM を開店していく予定である。



将来は東京でも開店したいと考えている。
(「大阪でも開いて！」という会場からの声)

質問に答えられた内容

共産主義政府になってから、米・仏に関連した仕事をした人達は、逮捕されたり、難しい立場となったので、父がベトナムを離れたのは良い決断だったと思う。
陸軍での経験は苦しかったが良い経験となった。
世界を歩いて、多くの人びとに出会い、異なる文化に触れ、Discover the world を実感した。
生きていく上で、good life, happy life, honest life が素晴らしいと思う。
自分の子供に対しては、choice の幅を広げてあげること、decision ができる wisdom を持てるような guidance を示すことができればよいと考えています。
wrong decision をしても、次のステップでの向上につながる。
山に登るには多くの道筋があるようにオプションはたくさんあり得る。
自分がデンマークで困難に感じたことは殆どなかった。

(父母はそうでなかったかもしれませんが)

open, share, learn, positive, unite, adaptability, communicate, freedom という言葉を随所に使われ、Nam さんが Danish and Globetrotter として生きてこられた姿が生き生きと描き出された講演であった。